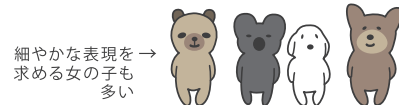


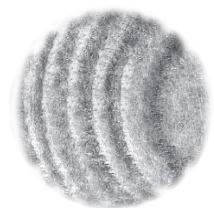
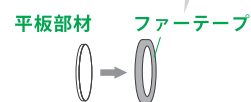
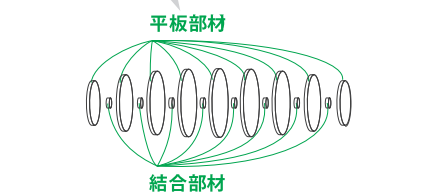
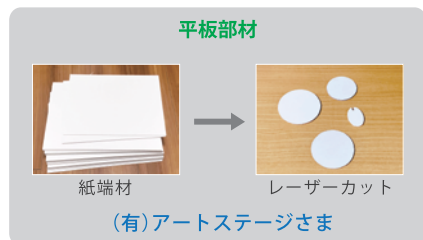
『はざいぬ モッフィ』の特徴

- ①めり込み具合などにより、微妙な違いや動きなども細やかに表現できます(顔の表情など)
- ②手芸のぬいぐるみより簡単に作成でき、やり直しも簡単です。
- ③人気キャラクターに似たものを作成しやすいです。
- ④動物園の人気動物セット、観光地のゆるキャラセットなど商品展開がしやすいです。
- ⑤特許登録による権利保護済みです。



端材利用について

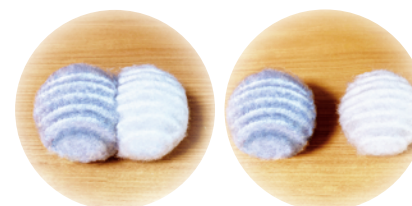
ブロックパーツのほぼ全ての材料を端材で作ることができます。



ブロックパーツ完成図

MOFFY

商品カタログ
『はざいぬ モッフィ』



接合シーン



商品構成

お問い合わせ

現在、サポート企業さま(出資、端材提供、プロダクト開発、広報、販促など)を探しています。
『はざいぬ モッフィ』、端材で発明ワークショップなどの詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

ナカシマデザイン事務所(問い合わせ先)
〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10F D-1-31
TEL: 090-1025-6810
E-mail: nakamasa@sk9.so-net.ne.jp

『はざいぬ モッフィ』
参考価格: 3,300円(税込)
端材プロジェクトメンバー
志野 元信(東大阪異業種交流グループ)

端材で発明ワークショップ

弊社はものづくり企業さまからいただいた高品質な端材で、子供たちと発明ワークショップを行っています。そこで見つけたヒントを元に、プロのデザイン技術による新プロダクト開発を行いました。

端材の精度を生かした高い機能性を持ち、かつ幅広い端材を継続的に活用できるプロダクトを創出することは、SDGsが掲げる資源の有効活用および持続性の実現につながり、端材を提供いただいたメーカーさまの高い加工技術のPRにもなります。

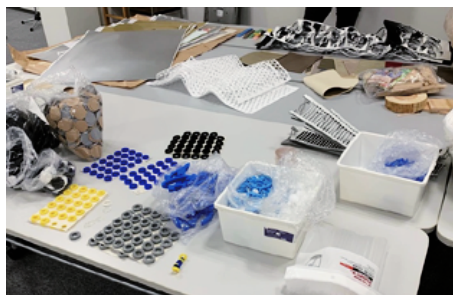
この実験的開発で生まれたのが『はざいぬ モッフィ』です。

『はざいぬ モッフィ』コンセプト

上記発明ワークショップで、自分オリジナルのぬいぐるみを作ろうとする女の子がいました。頭、体、顔の目口の位置関係など、その女の子好みになるまで頑張っている姿がヒントとなりました。

『はざいぬ モッフィ』は、自分が好きな動物を作って遊べるぬいぐるみブロックです。

高品質で多様な端材



紙、樹脂、ゴム、木材、皮革、フェルト、ボタン、テント生地など

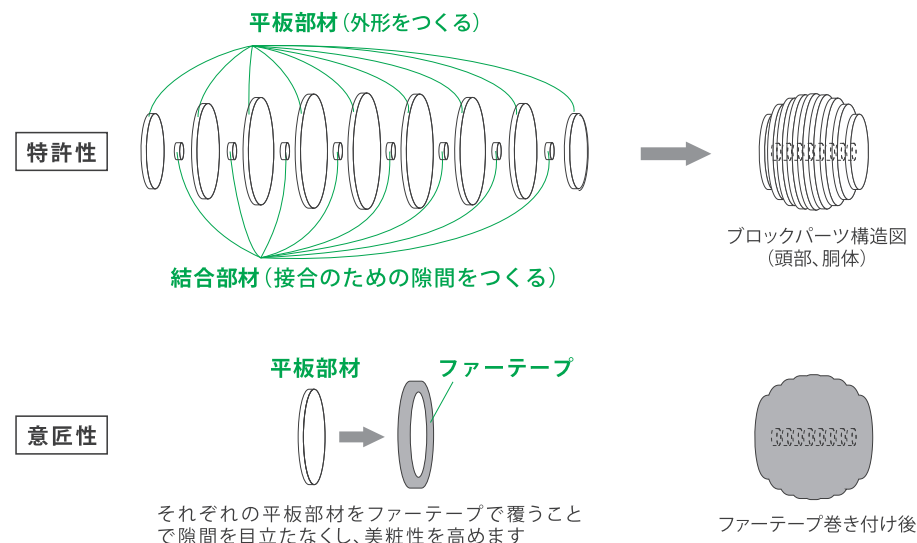
発明ワークショップ作品例



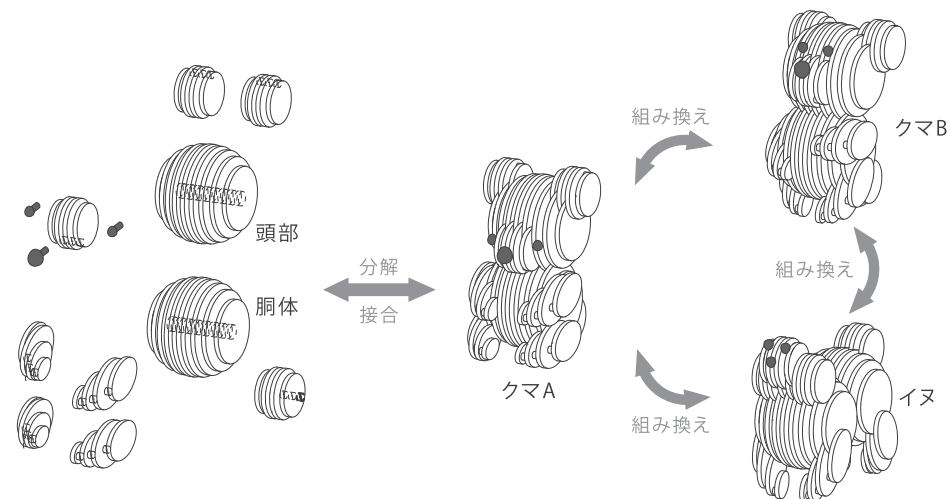
←開発のヒントになった女の子の作品

『はざいぬ モッフィ』の構造

『はざいぬ モッフィ』は、モフモフしたブロックで動物を作って遊べる知育玩具です。ブロックパーツは複数の平板部材が隙間を設けて積層することで形成されています。一方の平板部材が多方の平板部材間の隙間に差し込まれることで接合されます。平板部材を繊維材料のファーターテープで覆うことでブロックパーツの隙間が目立ちません(特許登録済)



ブロックの遊び方例 (説明のためファーターテープを省略)



頭部、胴体以外のパーツは仮の構造です

パーツの組み換えで多様な動物ができます
同じクマでも多様な顔のクマができます